

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	17	0403	友好都市交流推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
都市交流による交流人口の増

《事業開始の背景》
花巻市は、平塚市とは昭和59年に、十和田市とは平成元年に、それぞれ友好都市を提携し、各分野において交流を行ってきている。

《事業概要》
○友好都市との交流
⇒国内友好都市（平塚市と十和田市）との交流を促進。
○その他の国内都市との交流
⇒交流のある神奈川県川崎市を含めた、新たな交流先の検証・調査・情報収集。

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 友好都市交流事業参加人数	人	目標	400	400
		実績	375	277
②		目標		
		実績		
③		目標		
		実績		

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当者	(内線)
人づくり	生涯学習部	生涯学習交流課国際交流室	佐々木奈津枝	410

		25年度決算			
事業費		1,282			
財源内訳	国庫支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,282			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

花巻市 ↔ 友好都市 (平塚市, 十和田市) [交流促進]

花巻市 ↔ 交流都市 (川崎市他) [検証・調査・情報収集]

- 市民団体の交流活動の促進 (芸術・文化、スポーツ、まつり・イベント、観光・物産)
- 市民ツアーの開催 (花巻市⇄十和田市)
- 友好都市青少年交流キャンプの実施
- 花巻市民への友好都市の紹介
- 友好都市ホームステイ交流事業

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	17	0403	友好都市交流推進事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	豊かな心を育む生涯学習の推進
	4		4-5	
目的	都市交流による交流人口の増			
対象	花巻市民			
意図	市民が交流事業を通じて、国内友好都市等の文化を学ぶとともに、自分たちの文化を再認識することができる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○友好都市との交流
⇒国内友好都市（平塚市と十和田市）との交流を促進。

○その他の国内都市との交流
⇒交流のある神奈川県川崎市を含めた、新たな交流先の検証・調査・情報収集。

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 友好都市交流事業開催回数	回	計画	20	21
		実績	24	22
②		計画		
		実績		
③		計画		
		実績		
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 友好都市交流事業参加人数	人	目標	400	400
		実績	375	277
②		目標		
		実績		
③		目標		
		実績		

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

予定をしていた平塚市への花巻市民ツアー、平塚市からの花巻観光ツアー、そしてホームステイ交流事業が中止となったことが要因である。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

平成26年度に、平塚市との友好都市提携30周年、十和田市との友好都市提携25周年を迎える。交流する人数の減少に対する打開策が必要との意見がある。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	平塚市及び十和田市と取り交わした友好都市提携盟約書に基づいて進める事業であるので、市が主体的に進めるものである。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・平塚市への市民ツアー、ホームステイ交流の参加者がなかったため、これらの見直しが必要である。 ・事業の認知度を高める必要がある。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	・事業費については、必要最小限の予算としている。 ・人件費については、企画及び事務にかかる職員であり外部委託に適さない業務であり、削減の余地はない。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	事業は市内全域の小学生や市民を対象としており、受益機会は均等である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

平塚市への市民ツアーが参加者が集まらず中止となった。また、平塚市から花巻市への市民ツアー及びホームステイ交流事業も中止となった。平塚市との交流事業が停滞している状況であるが、平成26年度に平塚市との友好都市提携30周年を迎え、また、十和田市との友好都市提携25周年の節目の年を迎えることから、これまでの交流の絆を大事にして交流推進を図る必要がある。